

図6 スノーデント115 (LG31.588) のすす紋病抵抗性 (2019~2021年 当社北海道研究農場)

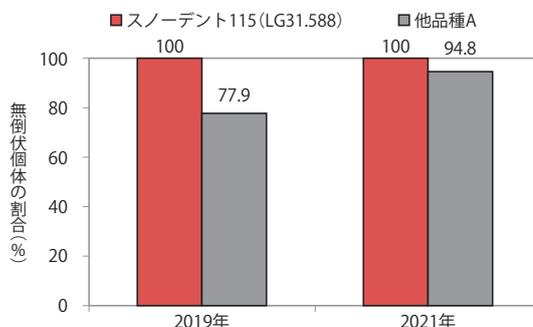


図7 スノーデント115 (LG31.588) の無倒伏個体率 (2019、2021年 当社北海道研究農場)

す。本品種は十分なすす紋病抵抗性を有しており、過去の試験からもすす紋病に強いことが判明しています(図6)。

②優れた耐倒伏性

本品種は稈長が高く、大柄でありながらも優れた耐倒伏性を有しています。過去2か年の試験では倒れることなく、収穫を迎えることができます(図7)。

3. おわりに

当社は今回紹介した品種以外にも多数の品種を販売しています。詳細につきましてはカタログをご参照ください。当社ホームページよりダウンロード可能です。品種についてのご質問、ご相談は最寄りの営業所までお問い合わせください。

「2022年度 酪農学園大学・雪印種苗株式会社共催酪農セミナー」 会場とWebのハイブリッド開催

■開催日時：

日時：12月10日(土) 9時~15時(受付開始8時30分)

場所：酪農学園大学 学生ホール

(北海道江別市文京台緑町582番地)

受講者は会場：先着100名様、Web配信：無制限といたします。

尚、新型コロナウイルス感染状況によっては開催内容を変更する可能性がありますことをご了承ください。

当日のセミナーはWeb配信も行います。

Web配信はZoomを利用し配信いたします。

■参加対象者：酪農生産者、酪農乳業関係者、メディア等

■お申込み方法：下記URLかQRコードからお申込みください。

<https://www.snowseed.co.jp/kyosaiseminar2022/>

もしくは、雪印種苗株式会社ホームページをご覧ください。



■参加費用：無料

■お申込み開始日：2022年11月1日(火)

お申込み締切日：2022年12月2日(金)

■オンライン用URL：事務局よりメールでご案内いたします。

■開催プログラム(予定)：

【講演】

テーマ：飼料高騰下における国内飼料生産について

①昨今の輸入粗飼料の情勢について

兼松株式会社 穀物飼料部 粗飼料課 課長

森光知之氏

課長補佐 磯野雅之氏

千葉拓弘氏

②飼料をめぐる情勢

農林水産省 畜産局 飼料課 流通飼料専門官

光田智裕氏

③飼料価格高騰下における酪農経営の課題-草地型酪農を中心に-

学校法人 酪農学園大学 循環農学類 農村計画論研究室 教授

吉野宣彦氏

④飼料価格の高騰を受けた北海道における飼料生産について

雪印種苗株式会社 トータルサポート室 担当部長

佐藤尚親氏

⑤飼料価格の高騰を受けた都府県における飼料生産について

山形大学 農学部 付属やまがたフィールド科学センター 教授

浦川修司氏